

大阪市西区

第15回

# 大塩平八郎終焉の地碑

しゅう えん



大阪市の天満にある造幣局宿舎に面した道路の片隅に、「洗心洞跡」の碑がある（北区天満1）。ここには、江戸時代に「大塩平八郎の乱」を起こした大塩平八郎の自宅、私塾「洗心洞」があった。

江戸時代の後期、天宝の大飢饉により大坂の米不足は深刻であった。大坂東町奉行所の与力で、陽明学者でもある大塩は、奉行所に民衆の救援を直訴したが拒否された。米の買占めを図っている豪商や、その米を利用して政略を企む役人に怒りを積もらせていた。1837（天保8）年2月19日、大塩は、大坂の民を救い、政治の腐敗をただそうと門下生や農民たちに檄文（げきぶん）を回し、「救民」の旗をかかげて、この「洗心洞」を焼き払って決起した。

大塩の勢は、大川にある難波橋を渡って南へ進み、北船場で鴻池屋などの豪商を襲って蔵を開け、そして東町奉行所へと進んだ。貧しい農民や町人、被差別民衆など、身分をこえた民衆は総勢300人ほどに膨れ上がったが、半日で鎮圧された。この乱で大坂の町の5分の1が消失したが、役人や豪商に不満を持つ民衆に大きな支持を得たという。今、大阪府合同庁舎1号館の前には、「東町奉行所跡」の碑がある（中央区大手前1）。

「天より下されそうろう 村々小前（こまえ）の者にいたるまでへ」と書きされた檄文には、「自分勝手な政治を行い、民衆を苦しめている役人をただす。贅沢な暮らしをしている豪商をただし、金銀や米を困窮している民衆に分け与える」ことが記されていたという。この檄文はひそかに書き写されて、全国に伝えられ、各地の乱に影響を与えた。

この檄文は、「小前」という下層の農民たちまでになっているが、大塩は被差別民衆にまで参加を呼びかけたという。この檄文が、幕府に押さえつけられ、しぼり取られた民衆の、その圧政をはね返す力を呼びさしたのではないだろうか。この奥底にある大坂民衆の力は、幕末の新しい時代の訪れを告げるものであったのだろう。

40日あまり潜伏した大塩平八郎と格之助親子は、3月27日、靱油掛町的美吉屋五郎兵衛宅で幕吏に包囲され、自ら命を絶った。ここには、大塩平八郎研究会による「大塩平八郎終焉（しゅうえん）の地」の碑がある（西区靱本町1丁目）。



## 友達と一緒に

守口市小学五年生(当時)

姫城真子

組み立て体操の時だって立てなかったけど友達に

「がんばれ！」

って言ってもらえてがんばれた。

そんな時は、すごくうれしい。

友達がいるから、毎日が楽しい。

こけて、すごくいたい時も

「だいじょうぶ？」

ってやさしく言ってもらえたら、

だいじょうぶになる。

人にやさしくしてもらえたら

自分もやさしくなってくる。

あたりまえみたいだけど

すごく幸せなこと。

そんなことも、友達が気付かせてくれた。

2005年度人権啓発詩・読書感想文募集事業

(大阪府・大阪府教育委員会・愛ネット大阪) (財)大阪府人権協会への入選作品より

## 編集後記

■人が集まれば、そこには必ず権力関係が生じる。自分や家族など周りの集団だけはその構造とは関係ない、ということはある。そのことをまず自覚し、自分がどこまで他者との関係で「対等」であることに敏感になれるか。問い直していく必要を感じた。(M)

■DVというと、どうしても手を出してしまうことを思いがちだが、例えば、薬が必要な人に薬を与えないことにより、病気の症状を悪化させることもDVIになることを改めて知った。児童虐待にもネグレクトがあるように、手を出すことだけがDVや虐待ではないことを知ってもらいたい。(T)

2006(平成18)年12月発行

この情報誌は20,000部作成し、1部あたりの単価は48円です。

発行／大阪府政策企画部人権室

編集／財団法人大阪府人権協会

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
TEL.06-6941-0351 FAX.06-6944-6616  
http://www.pref.osaka.jp/jinken/

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12  
TEL.06-6568-2983 FAX.06-6568-2985  
http://www.jinken-osaka.jp



**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

「そうぞう」とは

人権尊重社会を実現するためには、さまざまな偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」すること、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように一そんな思いが込められています。